

第34回環境賞(日立環境財団・日刊工業新聞社共催)の表彰式について  
～「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」が「優良賞」を受賞～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDM※1プロジェクト」が、財団法人日立環境財団※2と日刊工業新聞社が共催する第34回環境賞において「優良賞」を受賞し、その表彰式が昨日6月6日(水)に東京プリンスホテルで開催されましたのでお知らせいたします。

環境賞とは、1974年度に発足した表彰制度であり、環境への負荷が少なく持続的発展が可能な研究・開発・調査について、画期的な成果を上げるか、その成果が期待される、個人・企業・団体を表彰するもので、今年度は「環境大臣賞・優秀賞」1件、「優良賞」は当社を含めて3件が、受賞しました。

当社は、グループの石油開発プロジェクト会社がオペレーターとして操業するベトナムのランドン油田において、CO2排出削減プロジェクトを推進しています。2006年2月、CO2削減としては世界最大級であり、原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとしては世界初となるCDMとして、国連機関(CDM理事会)の承認を受けました。今回、この取り組みが高く評価され、同賞を受賞したものです。

今回の表彰式では、若林正俊・環境大臣、金井務・日立環境財団理事長、千野俊猛・日刊工業新聞社代表取締役社長より各受賞者に賞状と盾が授与されました。

※1 京都メカニズムの1つ「クリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism)」の略で、先進国が技術や資金を提供し、発展途上国で温室効果ガス排出削減プロジェクトを行った場合、そのプロジェクトによって削減された温室効果ガス相当量に対し、一定の認証手続きを得て排出権が発行される制度。

※2 環境問題に関する総合的な調査・研究活動を通じて、環境についての正しい認識と理解を促進することを目的とし、日立製作所の創業者・小平浪平翁20年祭を記念して、1972年(昭和47年)1月に「(財)公害調査センター」として設立された公益法人。2001年(平成13年)より「(財)日立環境財団」に名称を変更。

記

<表彰式概要>

1. 日 時: 6月6日(水) 11:30~13:00
2. 場 所: 東京プリンスホテル
3. 受賞テーマ:「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」
4. 受賞者: 栗本 駿(新日本石油株式会社 執行役員 環境・品質本部 社会環境安全部長)  
大橋 秀俊(新日本石油開発株式会社 トリポリ事務所長)  
土田 進一(新日本石油株式会社 環境・品質本部 社会環境安全部チーフスタッフ)

以上

別紙: 第34回環境賞 表彰式の様子

 第34回環境賞 表彰式の様子 (456.8KB)